



平成 21 年 10 月 27 日

各 位

会 社 名 パシフィックシステム株式会社
代表者名 代表取締役社長 増古 恒夫
(JASDAQ・コード番号・3847)
問合せ先 常務取締役 小澤 文男
(TEL. 03-5847-4700)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月14日にて公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想修正の内容

(1) 平成 22 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間連結業績予想の修正 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)
(金額単位：売上高及び各利益は百万円、1 株当たり純利益は円、銭)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回予想 (A)	4,150	58	52	31	円 銭 21.14
今回修正 (B)	3,798	139	130	71	48.54
増減額 (B-A)	△352	80	78	40	—
増 減 率 (%)	△8.5	137.0	148.5	129.7	—
(参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期第 2 四半期)	4,204	56	59	38	25.72

(2) 平成 22 年 3 月期 第 2 四半期累計期間個別業績予想の修正 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)
(金額単位：売上高及び各利益は百万円、1 株当たり純利益は円、銭)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回予想 (A)	2,712	△3	216	129	円 銭 87.68
今回修正 (B)	2,590	50	319	291	197.08
増減額 (B-A)	△121	53	102	161	—
増 減 率 (%)	△4.5	—	47.3	124.8	—
(参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期第 2 四半期)	2,986	16	36	29	19.74

2. 修正の主な理由

(1) 連結業績予想

わが国経済は、アジア向けを中心とした輸出の持ち直し、企業の在庫調整の進展、エコカー減税やエコポイントなどの政策効果により改善がみられるものの、雇用や設備の過剰感は解消されておらず、設備投資については低調に推移しました。

当第2四半期累計期間において当社グループでは、生コンクリート業界におけるJIS改正関連投資の受注が活発化してきているものの、設備投資の縮小・中止等の影響を受けたことにより、受注遅延の発生や案件の中止等があり、売上高に関しては前回予想から352百万円減少の3,798百万円の見込みであります。利益につきましては、売上高の減少に対し、グループ会社間の協業体制推進による外注費削減と開発要員の稼働率確保及び原価低減対策を実施したことにより、営業利益は前回予想より80百万円増加の139百万円、経常利益は前回予想より78百万円増加の130百万円、当期純利益は前回予想より40百万円増加の71百万円の見込みであります。

(2) 個別業績予想

個別業績につきましては、売上高は連結業績予想と同様の理由により前回予想から121百万円減少の2,590百万円の見込みであります。利益につきましては連結業績予想と同様の理由により、営業利益は前回予想より53百万円増加の50百万円、経常利益は関連子会社からの受取配当金の増加も加わり前回予想より102百万円増加の319百万円、当期純利益は前回予想より161百万円増加の291百万円の見込みであります。

なお、通期の連結及び個別業績予想につきましては、受注状況が計画通り進捗しておらず、また先行きの見込みも不透明なため、現時点においては平成21年5月14日に公表いたしました業績予想を据え置かせていただきます。

(注) 上記予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上